

策定の方向性

次の3つの視点のもと、第3期総合戦略策定作業を実施する。

視点1 国・北海道等動向との関係

- ・「デジタル田園都市国家構想総合戦略」の期中であり、地方版総合戦略の4本柱に変更がないこと、また、本市にとっても当該4本柱が地方創生において重要であることから、基本目標1～4は変更しない。
- ・国・道等の施策動向を捉えるため、「デジタル田園都市国家構想総合戦略」や、地方創生の残課題、方針等を整理した「地方創生10年の取組と今後の推進方向」、道方針等を踏まえた要素について追加する。

視点2 総合計画との整合性

- ・市の最上位計画である第8次総合計画では、「こども・しごと・地域」に視点を当てた3つの重点テーマを設定しており、令和5年度の基本計画の改定において「DX・GX・デザイン思考」を横断的視点として新たに取り入れている。
- ・改定による新たな視点の反映に加え、重点テーマと総合戦略との関連性等について整理し、一貫性があり、市民にとって分かりやすい戦略策定を目指す。

視点3 評価検証や調査に基づく見直し

- ・基本目標との整合を図るため、数値目標、KPI、施策内容等の見直しを図る。
- ・見直しは、現行戦略の評価検証や、北海道立総合研究機構と共同実施を予定している出産・子育て希望に係る調査の結果などを基礎として実施する。

策定スケジュール

令和6年7月18日
第1回懇談会

- ・評価検証報告書（案）
- ・策定の方向性 意見聴取

令和6年10月下旬頃
第2回懇談会

- ・第3期戦略（案）意見聴取

令和6年12月下旬頃
パブリックコメント
の実施

令和7年2月
第3回懇談会

- ・新戦略（最終案）意見聴取

令和7年3月
第3期戦略完成

デジタルの力を活用した地方の社会課題解決

デジタルの力を活用して地方の社会課題解決に向けた取組を加速化・深化

- 1 地方に仕事をつくる**
スタートアップ・エコシステムの確立、中小・中堅企業DX（キャッシュレス決済、シェアリングエコノミー等）、スマート農林水産業・食品産業、観光DX、地方大学を核としたイノベーション創出 等
- 2 人の流れをつくる**
「転職なき移住」の推進、オンライン関係人口の創出・拡大、二地域居住等の推進、地方大学・高校の魅力向上、女性や若者に選ばれる地域づくり 等
- 3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる**
結婚・出産・子育ての支援、仕事と子育ての両立など子育てしやすい環境づくり、こども政策におけるDX等のデジタル技術を活用した地域の様々な取組の推進 等
- 4 魅力的な地域をつくる**
教育DX、医療・介護分野DX、地域交通・インフラ・物流DX、まちづくり、文化・スポーツ、防災・減災、国土強靱化の強化等、地域コミュニティ機能の維持・強化等

総合計画基本計画における重点テーマ

重点テーマⅠ こども 生き生き 未来づくり
重点テーマⅡ しごと 活き活き 賑わいづくり
重点テーマⅢ 地域 いきいき 温もりづくり

重点テーマ内容（例）

重点テーマⅠ こども 生き生き 未来づくり

人口減少をできる限り抑制するため、これまで取り組んできた待機児童数ゼロの維持や医療費助成などのほか、結婚、妊娠、出産、子育てなどへの切れ目のない支援を行うとともに、いじめ防止対策を推進し、子どもを安心して生み育てることのできる環境を創出します。

また、子どもの視点に立ち、子どもたちが地域で生き生きと育ち、夢と希望を持って学ぶことができる環境づくりや一人一人の個性や能力を伸ばすことのできる質の高い教育を進め、公立大学法人旭川市立大学との連携を推進するなど、まちの未来を担う人づくりを推進します。